

小説の本棚 ～おすすめ本をそろえました～



『ミ・ト・ン』 小川 糸／文 平澤 まりこ／画 白泉社 (Fオガワ)

ルップマイゼ共和国の建国と同じ年に生まれたマリカ。寒さの厳しい、けれどとても美しく、歌うことと踊ることが大好きな人々の住まう国でミトンと共に歩む人生は、愛に溢れていた。ミトンを編むのが苦手だったマリカも、愛する人と出会い、心を込めて美しいミトンを編むことが生きる喜びになっていく。つらく悲しいことがあっても、希望や喜びを忘れずに生きた女性の一生を紡いだ物語。

『くじら島のナミ』 浜口 倫太郎／著

ディスカヴァー・トゥエンティワン (Fハマグ)

島のように大きなくじら・ジマは、嵐の海で出会った人間の赤ちゃん・ナミを背中の上で育てることに。人間の子育てに悪戦苦闘するジマだが、海の仲間たちの協力もありナミはすくすくと成長していく。そしてナミが5歳になった時、ジマはくじらのエサとなる豊富なオキアミを求めて、「マジックオーシャン」と呼ばれる北の海へ向かうことを決意する。だがそれは、過酷な旅の始まりだった。



『背中、押してやろうか?』 悠木 シュン／著 双葉社 (Fユウキ)

中学2年生の一平は、陸上部に所属する映画が好きなごく普通の少年だ。そんな一平のクラスに、長い間不登校だった繭子が再び登校するようになる。一平にとって、気になる存在だった繭子。だが、彼女の登校をきっかけに、不穏な空気が一平のクラスに漂い始める。度重なる同級生の不可解な死、一平の親友である智也の不登校、そして自身へのいじめ。一平の穏やかだった生活は、少しずつ狂いはじめていく。

わたし、定時で帰ります。 朱野 帰子／著 新潮社 (Fアケノ)	ランチ酒 原田 ひ香／著 祥伝社 (Fハラダ)
修羅の都 伊東 潤／著 文芸春秋 (Fイトウ)	刑事の怒り 薬丸 岳／著 講談社 (Fヤクマ)
祝葬 久坂部 羊／著 講談社 (Fクサカ)	はなの味ごよみ 高田 在子／著 KADOKAWA (PFタカダ)
シネマコンプレックス 畑野 智美／著 光文社 (Fハタノ)	ハウスキーピング マリリン ロビンソン／著 河出書房新社 (933ロビン)

ほんとりっふ 「おひとりさま」



「おひとりさま」の時間をもっと有意義に。誰とも約束がない休日に、ダラダラ過ごすのも、「おひとりさま」を満喫するのもあなた次第。おひとりさまライフをより充実したものにしてくれる本をご紹介します。



『おひとりさま』

岩下 久美子／著 中央公論新社（159イワン）

2001年に出版。今では珍しくない女性の「おひとりさま」ですが、この本が出版された2001年当時は一般的なものではありませんでした。そんな時代にも関わらず、「ひとりの時間」を大切にしたい女性のために、外食・旅行・美容など各ジャンルから「おひとりさま」の楽しみ方を紹介した故・岩下久美子によるエッセイです。



『ひとり飲みのやせるつまみ』

井原 裕子／著 世界文化社（596イハラ）

「仕事を終えて、手作りつまみでゴクッと一杯！ ああ幸せ！」という著者が考えた、夜遅く食べても太らない“晩酌献立”レシピ集。肉や魚などのたんぱく質を我慢せず、おまけにアンチエイジング効果も期待できる、身体にやさしいメニューが満載。健康にも気を配る、そんな一人家飲み派の皆さんへおすすめの1冊。



『美しく暮らすおしゃれのヒント』

松本 洋子／著 朝日新聞出版（289マツモ）

60歳でシニアモデルになった著者による、おしゃれな一人暮らしのススメ。少女モデルからスタイリストを経て、テレビ局のアシスタントプロデューサー、芸能事務所の社長という経歴を持つ著者が、ファッション、スキンケア、食生活、住環境から趣味まで、様々な分野からおしゃれに暮らすヒントを伝授する。



《新着図書》

『モンテレッチョ小さな村の旅する本屋の物語』

内田 洋子／著 方丈社(024ウチダ)

『会社を辞めずにあと5万円！稼ぐ』

新井 一／著 大和書房(335アライ)

『脳の再起動(リブート)スイッチ』

久賀谷 亮／著 ナツメ社(498クガヤ)

『白の優美プティ』

中山久美子ジェラルツ／著 文化学園文化出版局(594ナカヤ)

『テツ語辞典』

栗原 景／文 池田 邦彦／絵 誠文堂新光社(686クリハ)

『広辞苑をつくるひと』

三浦 しをん／著 岩波書店(813ミウラ)



Y



A

☆ヤング・アダルト☆

～おすすめの新しい小説～



『ラブリー!』

吉田 桃子/著 講談社 (Y913ヨシダ)

映画を作ることが趣味の中学二年生、拓郎は、毎年挑戦していた青少年創作映像コンクールで念願の賞を受賞した。手放して喜んでいた拓郎だったが、後日公開された審査員講評によって窮地に立たされる。主演に選んだクラスメイトの女子に対して、ブス女優とコメントされたのだ。

人の見た目に対して無頓着な拓郎でも、このことが本人に知られればさすがに傷つくだろうと考え、ばれないようにやり過ごそうとするが…。

『ザ・ヘイト・ユー・ギヴ あなたがくれた憎しみ』

アンジー トーマス/作 服部 理佳/訳 岩崎書店 (Y93トマス)

ギャングがはびこる町に暮らす黒人の女子高生スター。ある晩、スターの目の前で幼なじみのカ ril が白人警官により射殺される。警察は、無抵抗のカ ril を撃った白人警官の行為を正当化するため、カ ril を極悪人に仕立て上げようとする。カ ril の名誉を取り戻すために自分が声をあげなければ…でも、恐怖で踏み出せない。それでも彼女は時間をかけ、家族、恋人、友だちに支えられて、彼のために立ち上がる。「真実」をみようとしない大人たちによる誘導的尋問や、「日常」を失うかもしれない恐怖を乗り越えていく。黒人差別問題や銃弾の音が響き渡るような生活環境のリアルな表現に読む手がとまらない、今注目の Y・A 小説。



★雑誌コーナーからのお知らせ★

『yoga JOURNAL』(奇数月 20 日頃発売)



世界 8 か国で出版されている No.1 ヨガ雑誌の日本版が、雑誌コーナーに新たに仲間入り。本誌では、ヨガ初心者から上級者、インストラクターまで幅広いレベルに合った実践法を紹介しつつ、健康志向の方へのライフスタイルも提唱しています。ぜひ、ご一読ください。

☆あたらしい本☆



『きのう、きょう、あした。』

つばた 英子／著 つばた しゅういち／著 主婦と生活社（590ツバタ）

今回ご紹介する新しい本は、「あしたも、こはるびより。」「ひでこさんのたからもの。」に続く「きのう、きょう、あした。」です。

最愛のご主人修一さんを亡くし、悲しさよりも虚しさを感じていたと言う英子さん。そんな英子さんを再び奮い立たせたのは「食べることの大切さ」と、修一さんの「人に依存せず、何でも自分の手で」という言葉でした。そんな89歳の英子さんがおくる、ゆったりとした丁寧な日々の暮らしぶりを、たくさんの写真と共にまとめた心温まる一冊です。



おはなし会のご案内

清水学習センター図書室では、毎月おはなし会を開いています。ぜひ、ご参加ください。

★ おひざにだっこのおはなしかい ★

日時：毎月第3木曜日 午前10時半から11時

対象：3才までのお子さんとその保護者

内容：てあそび・わらべうた・絵本

紙芝居 など

★ おはなしポケット ★

日時：毎月第3土曜日 午後2時から2時40分

対象：4才から小学生

内容：絵本・紙芝居・工作

ブックトーク など



図書室からのお知らせ

図書室の本が破けてしまった時は、セロハンテープ等で修理せず、職員にお知らせください。

図書室で修理いたします。（セロハンテープ等で補修すると劣化の原因になります。）

清水学習センター図書室広報

『SHIMIZU—清学図書通信—』

第23号 2018年9月発行

● 編集 清水学習センター図書室

〒960-8252

福島市御山字松川原5-1

TEL 024-557-7400

● 発行 福島市立図書館

〒960-8018

福島市松木町1-1

TEL 024-531-6551



ホームページ

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/index.html>

携帯ホームページ

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile/library/index.html>